

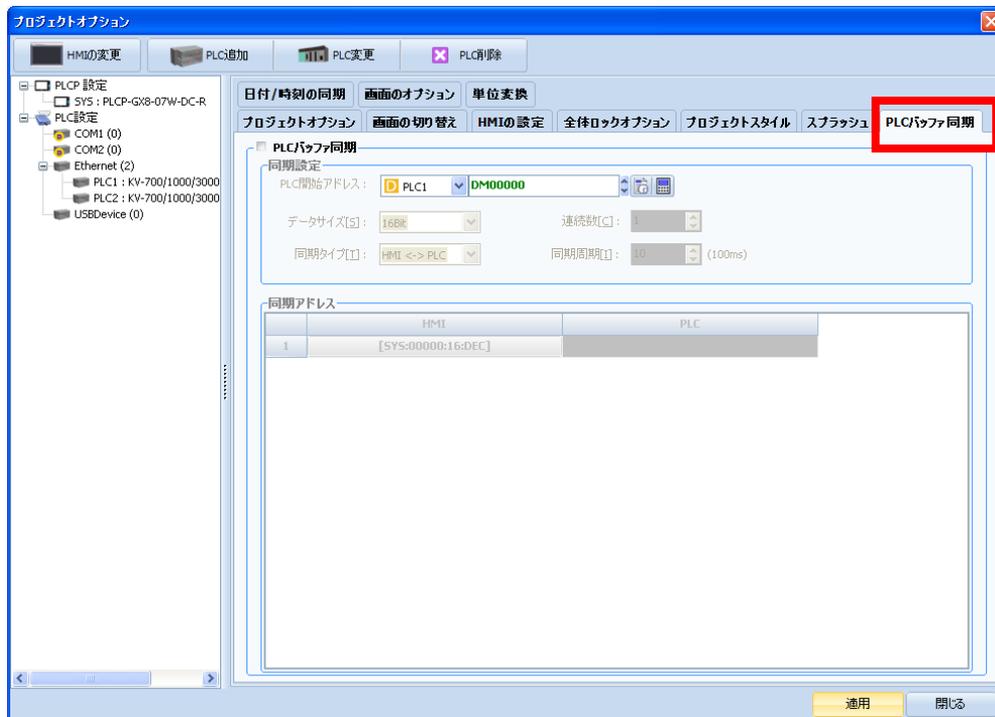
GX8 PLC バッファ同期（デバイス転送） 設定

※PLC 1台、且つ1種類のデバイスのみタッチパネルと同期が可能です。

[プロジェクト]タブ内の「プロパティ」ボタンをクリックし、[プロジェクトオプション]画面を開きます。



[プロジェクトオプション]画面の[PLC バッファ同期]タブを開きます。



「PLC バッファ同期」にチェックを入れます。



[同期設定]枠で、[PLC 開始アドレス]、[連続数]、[同期タイプ]などを設定します。

	HMI	PLC
1	[SYS:00000:16:DEC]	[PLC1:R010:16:DEC]

例) 下図の設定を行った場合

	HMI	PLC
1	[SYS:00000:16:DEC]	[PLC1:R010:16:DEC]
2	[SYS:00001:16:DEC]	[PLC1:R011:16:DEC]
3	[SYS:00002:16:DEC]	[PLC1:R012:16:DEC]

同期アドレス：

- 1 行目：タッチパネルの内部デバイス (SYS 0.0～SYS0.15) ⇔PLC (R1000～R1015)
- 2 行目：タッチパネルの内部デバイス (SYS 1.0～SYS1.15) ⇔PLC (R1100～R1115)
- 3 行目：タッチパネルの内部デバイス (SYS 2.0～SYS0.15) ⇔PLC (R1200～R1215)

※ここでは、キーエンス社 PLC の場合、R アドレスを R10 と設定した場合、R1000 が同期されます。

タッチパネルの内部デバイスを変更する場合は、HMI のアドレス部をダブルクリックすると設定できるようになります。

	HMI	PLC
1	[SYS:00000:16:DEC]	[PLC1:R010:16:DEC]
2	[SYS:00001:16:DEC]	[PLC1:R011:16:DEC]
3	[SYS:00002:16:DEC]	[PLC1:R012:16:DEC]